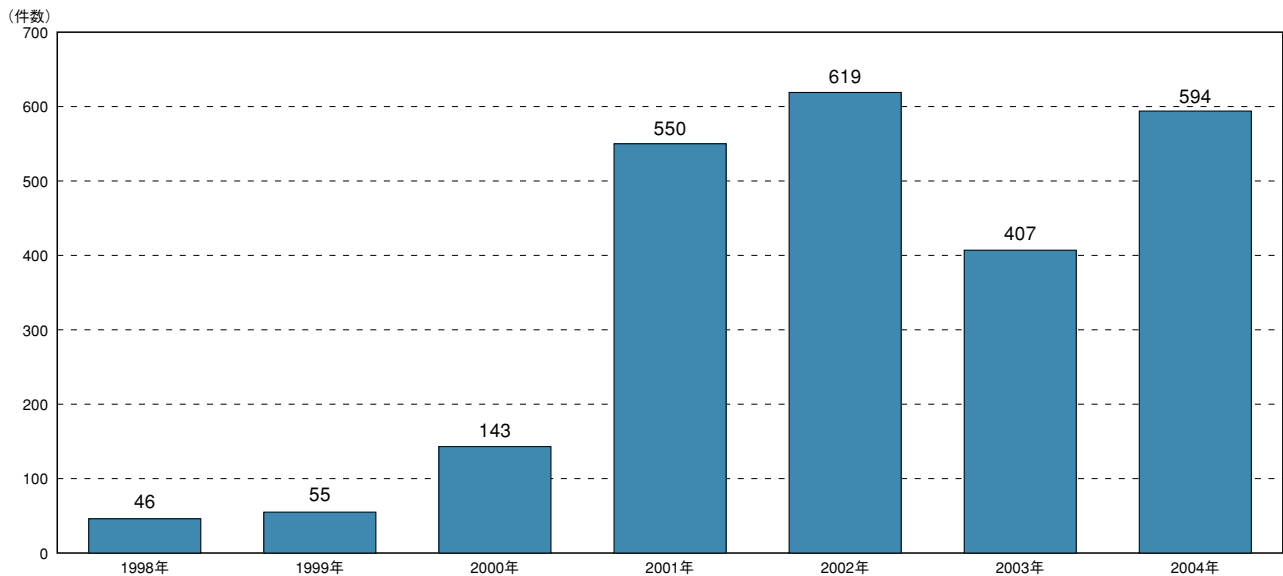


不正アクセス

不正アクセスの届出数は減少から再び増加へ

資料6-3-3 2004年不正アクセス届出件数の推移（1998年-2004年）

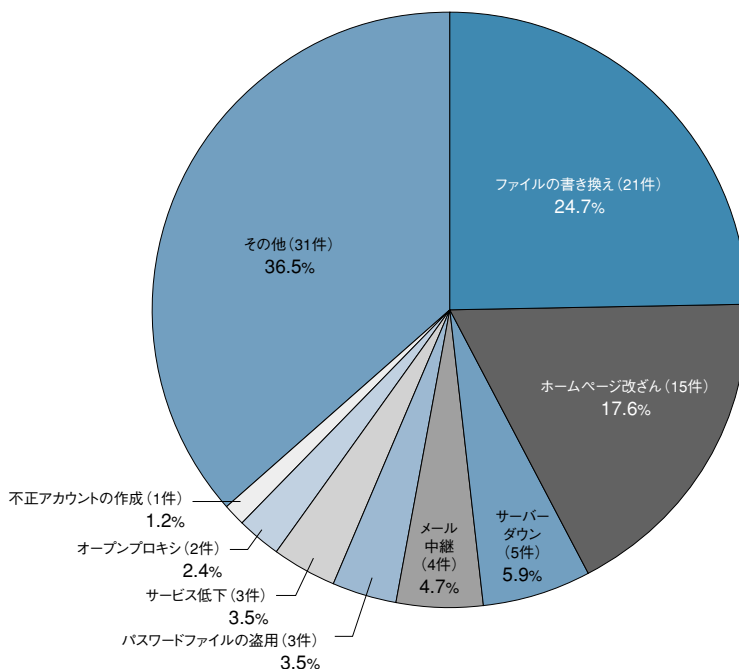


セキュリティホール対策などにより2003年には減少していた届出件数が、2002年とほぼ同数にまで再び増加した。セキュリティホール対策が施されても、アクセス者側も新しいセキュリティホールを突いてアクセスするうえ、個人ユーザーへの常時接続の普及に伴い、企業・個人問わず攻撃対象が広がったことが原因と考えられる。

出所 IPA「2004年不正アクセス届出状況」2005年1月【1届出件数】

全体数は減少傾向、構造は変わらず

資料6-3-4 2004年不正アクセス被害の種別



ファイルの書き換え（21件）と、ホームページ改ざん（15件）という、サーバー上のファイルが書き換えられる被害が約4割を占める。この構造は昨年と同様である。サーバーダウンの被害は、無差別アタック型ウイルスの影響が、実数が増加している。

出所 IPA「2004年不正アクセス届出状況」2005年1月【3被害内容】

インターネット白書 / ©1996-2012 Impress R&D



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp